

駿河湾魚類追加(第10報)*

黒田長禮(1951年4月26日受領)

追加第9に引續き以下に60種を記述する。各種には追番號を附す。

(67) *Pomacentrus nagasakiensis* TANAKA ナガサキスズメダイ〔雀鯛科〕

P. tripunctatus KURODA, 「植動」 ix, no. 5, p. 715 (1941—Shige, Shizuura) nec CUV. & VALENC.). 志下島根, 釣1點(29. viii. 1937) 誤つてセホシスズメダイとして報告, 黒田, 1941); 牛臥ヒイチ根, 1點(vii. 1939) (大山蒐集品); 志下瓜島, 釣1點(27. viii. 1941)。3例の全長 85.5, 105, 95 mm, 稀種に屬する。特徴は「植動」上掲, p. 715参照。分布は駿河湾が北限で, 紀伊・土佐・長崎及び奄美大島(SCHMIDT, 1930)に及ぶ。

(68) *Abudefduf saxatilis* (LINNAEUS) オヤビッチヤ〔雀鯛科〕*A. sexfasciatus* KURODA, "Amoeba," iii, nos. 1~2, p. 113 (1931) (nec LACEPEDE).

志下瓜島 稚魚(viii. 1919)及び江ノ浦湾内口野島, 稚魚(ix. 1922)〔ロクセンスズメダイと誤報, 黒田, 1931〕; 伊豆古宇沖, 稚魚5點(20. viii. 1938); 伊豆久連沖^{グッラ}附近, 稚魚2點(12. viii. 1939); 牛臥大山蒐集品), 稍々普通。

(69) *Lepidaplois perdilio* (QUOY & GAIMARD) タキベラ〔倍良科〕

駿河湾, 老成魚1點(年月不明)(大山蒐集品), 全長 410±mm 甚稀, 本種は從來北限地として三崎(?) (JORDAN & THOMPSON, 1914)の報告ある外は, 紀伊・土佐・琉球, 其他南方から知られるのみである。然るに駿河湾から頗る大形のものが大山蒐集品中にあることは特記すべきことである。

(70) *Verreo oxycephalus* (BLEEKER) キツネダイ・キノシシ〔倍良科〕

駿河湾, 中1點(viii. 1935, 芹澤貞次郎寄)(大山蒐集品), 全長 213 mm 吻は長く尖り, 背鰭棘部中央に1黒斑が明に存する, 稀種。

(71) *Semicossyphus reticulatus* (CUV. & VALENC.) コブダイ・カンダイ〔倍良科〕

清水港, 伊豆戸田附近, 中1點(1937)(大山蒐集品)。

(72) *Stethojulis phlekadopleura* BLEEKER ニジベラ〔倍良科〕

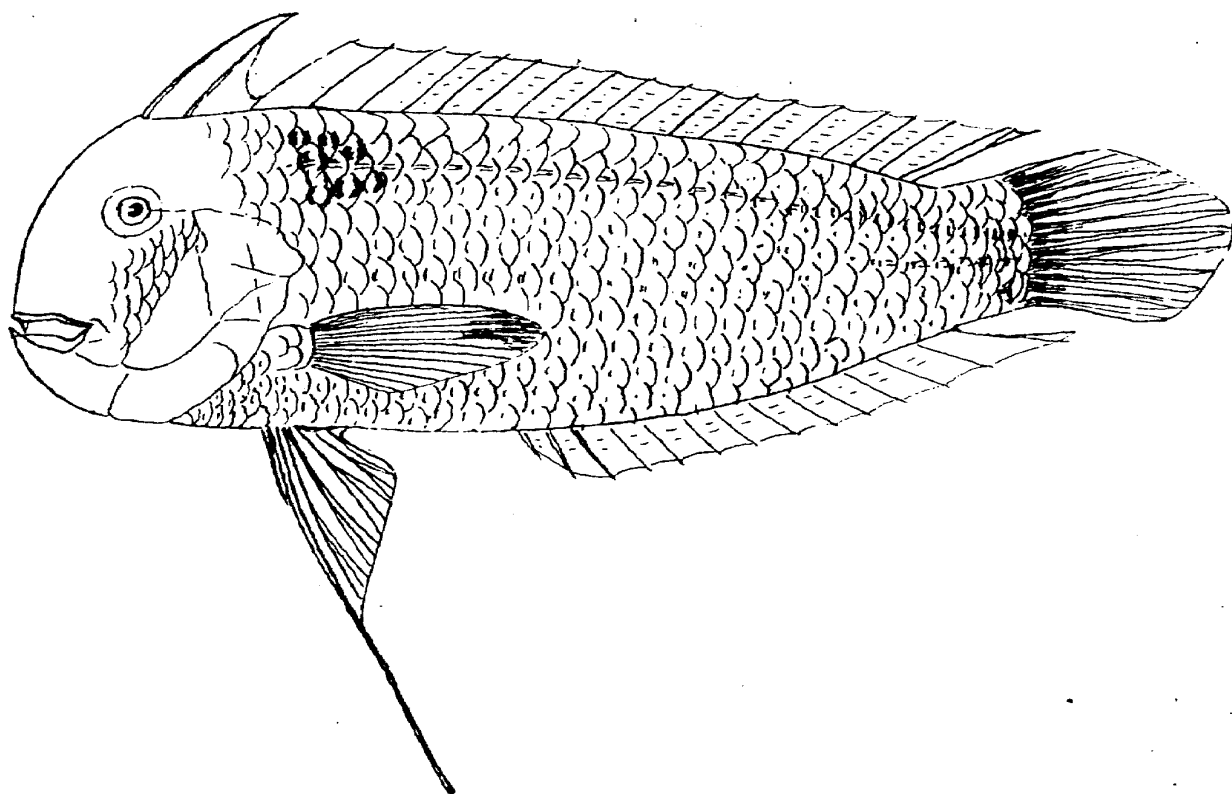
Syn.—*S. trossula* JORDAN & SNYDER (1902—Misaki), 牛臥附近, 成魚2點(vii~viii. 1930)(大山蒐集品), 稀種。

(73) *Hemipteronotus evides* JORDAN & RICHARDSON ホシヒララ (岡田博士, 1938)〔倍良科〕第4圖

駿河湾, 成魚1點(年月不明)(中澤蒐集品), 全長 170, 體高 50 mm D. IX, 12〔或は ID. II; IID. VII, 12〕; A. III, 11; P. 11; V. I, 5; C. 13(?); 1縦列鱗 25 箇。

特徴——見テンス(*Iniistius dea* (TEMM. & SCHL.))に酷似するが, 次の諸點で直ちに區別される。(1) テンスには頬鱗がないが, 本種には頬に數鱗が横列をなして下方に及ぶ。(2) 背鰭第1棘は稍長きも第2棘と同長で, 特に糸状とはならず, 所謂第2背鰭とは明なる基底膜により連絡し, 即ち半分離(semidetached)の状にある。(3) テンスでは背鰭起部は眼より明かに後方の背上に起るが, 本種では眼の中央上の背方に生じている。(4) 腹鰭の第1棘は短小であるが, 第1軟條は甚だしく延長してその全長基部より 57 mm〔糸部だけ 28 mm〕, 幅 1.5 mm を測り, 腹方に押當てればその糸部の先端は少くとも臀鰭第2軟條に達する。(5) 背・臀兩鰭の各最後軟條も相當に延長し, 尾鰭中央近くに迄達する。(6) 所謂第2背鰭第2~第3棘の下方, 即ち側始部に1大暗斑があり, これは7~8箇の黒縁擬圓形斑よりなるもので, この大斑の周圍は擬白色で取巻かれる。(7) 1縦列鱗 25 箇でテンスでは 23 箇である。體色〔相當長年月フォーマリン漬〕は暗黄色で體の色素は殆ど消失せるが, 體背方の黒大斑部の附近と背鰭後部下の背方とに殆ど見えざる程度の各1箇の横帶を残す様である。所謂第1背鰭は縁多少暗色, 所謂第2背鰭には4~5の點又

* 訂正を含む



第4圖 ホシヒラベラ成魚腹鰭第1軟條の延長を示す。

は小線より成る縦列をなし、臀鰭には点より成る2縦列の線を見る。胸鰭は淡色で、軟條の上方が黒い。腹鰭は糸部共白色無斑、尾鰭にも斑を認め難い。體側で大體側線より下方の各鱗基部には1箇宛の暗斑を有する。

從來ヒラベラ属は臺灣産に3種が認められ駿河灣産の此標品は其内のホシヒラベラに同定し得ると思う。此決定をなすに當り大島博士より *H. evides* JORDAN & RICHARDSON の原記載と附圖とを借覽するを得たことを茲に附記して感謝の意を表する。原記載によれば D. II-VII, 12; A. III, 12; 鱗列 28 箇で駿河灣産と大差がなく、又原圖にも腹鰭第1軟條は可なり長く書かれている。然し私の標品の様に甚だしくは延長していないが、之れはイトヒキベラの場合同様、雄の方が雌より延長度が多いと考えるべきかと思う。更に角木種は是迄臺灣以外には知られぬものであり、然かも駿河灣に成魚を得たことは特筆に値すると思う。因に原記載用の2標品の全長は 4~5 in. (=107~127 mm) で今回のより遙に小さい。

(74) *Platax pinnatus* LINNAEUS ツバメウオ〔燕魚科〕

syn.—*Chaetodon teria* FORSÅL (1775).

駿河灣〔?〕, 大1點〔D. と A. 著しく長くないもの〕(大山蒐集品), 頗る稀。

(75) *Zanclus cornutus* (LINNAEUS) ツノダシ〔角出科〕

駿河灣, 成魚1點 (x. 1933) (大山蒐集品), 完全標品。

(76) *Chaetodon modestus* TEMM. & SCHL. ゲンロクダイ〔蝶々魚科〕

駿河灣, 成魚1點 (年月不明) (中澤蒐集品); 同 (大山蒐集品), 前標品全長 120 mm

(77) *Hepatus elegans* (GARMAN) ハナビラハギ〔蒲原教授, 1937〕(仁座鯛科)

伊豆古宇, 稚魚1點 (1940) (大山蒐集品), 甚稀。

此標品は蒲原教授, 動雜 vol. 49, p. 257, fig. 1 (1937——土佐沖ノ島) の圖に全く一致する全長 37.5 mm (蒲原氏のもの全長 32 mm)。Cocos Is. で記載された以後は土佐以外からは今回が始めてで、即ち駿河灣は分布の北限となる。

昭和 27 年 (1952) 6 月

駿河灣魚類追加

171

(78) *Macrorhamphosodes uradoi* (KAMOHARA) (1933) フェカハムキ〔義万科〕

駿河灣, 幼 2 點 (年月不明) (大山蒐集品), 全長 52, 64 mm 幼魚の爲め吻長が著しく短い。稀種。駿河灣は矢張北限地で、従来は熊野灘・土佐浦戸及び Balayan Bay から知られるのみである。

(79) *Balistes capistratus* SHAW メガネハギ〔紋殻皮剥科〕

駿河灣, 成魚 1 點 (年月不明) (中澤蒐集品), 全長 257 mm, 體高 92.5 mm 純熱帯性で、本邦では頗る稀種で、駿河灣〔今回, 北限〕・紀伊・土佐・沖縄・支那海・布哇・東印度諸島・印度洋・紅海・中央アメリカ (檜山氏) 等に分布する。今回の標品は熊田・檜山, Fishes of Mexico, 1937, pl. 86, fig. A に完全に一致する。

(80) *Abalistes stellatus* (LACEPEDE) オキハギ〔紋殻皮剥科〕

駿河灣, 稚魚 1 點 (年月不明) (大山蒐集品), 稀種。全長 30 mm 此種も熱帯性で本邦では紀伊以外からは今回が初めてである。宇井, 紀州魚譜, 1924, p. 204, fig. 82〔寫眞参照〕

(81) *Balistapus aculeatus* (LINNE) ムラサメモンガラ〔紋殻皮剥科〕

駿河灣, 稚魚 1 點 (年月不明) (大山蒐集品。全長 37.5 mm 稀種に屬し、オキハギよりも楕圓形で長味があり、體側及び頭側には著しい斑紋はなく、體は黒褐色で、口唇・背鰭軟條部・臀鰭の縁・尾鰭上下兩縁及び後縁等は白色である。矢張熱帯性で、土佐以北からは今回が初めてである。稚魚で FOWLER の原圖 (蒲原教授, 堅皮類, p. 53, fig. 27) に一致する。

(82) *Xanthichthys lineopunctatus* (HOLLARD) ゴトウモンガラ・ナメモンガラ〔紋殻皮剥科〕Syn.—*X. gotonis* TANAKA (1911-1914—Izu, ♂).*X. purus* TANAKA (1911-1914—Izu, ♀).

駿河灣〔?〕, 大 3 點 (viii. 1934) (大山蒐集品), 稀種。全長 1 例 260 mm, 山中, 日本魚類圖說, vol. 27 pl. 131, fig. 372, pl. 133, fig. 374 に一致する。熱帯性で、北限は相州三崎である。

(83) *Monacanthus nipponensis* KAMOHARA (1939), ツラナガハギ〔皮剥科〕

駿河灣, 成魚 1 點 (年月不明) (中澤蒐集品), 稀種。全長 (尾糸共) 232, 體長 158, 尾の糸部長 38 mm ID. 1; HD. 30; A. 29, 此標品は蒲原教授の原記載と附圖とに殆ど全く一致するが、唯異なるは吻が凸形でなく寧ろ自然に半圓形を呈すること、背の黒大斑が原記載及び圖では背鰭軟條部に 2 箇のみとなつてゐるが、今回ののは項部と尾柄背面とに同様明瞭にあり、故に 4 箇となる。其他尾鰭基底にも多少の暗色 1 横帯を示すことが異點である。此外、尾鰭の糸状部の具合、其他全く原記載通りである。ナガハギより背・臀兩鰭の軟條数が多いことも特徴である。此種は土佐御嶽瀬から 2 點知られたのみの珍種である。駿河灣は北限分布地となる。

(84) *Sphoeroides pardalis* (TEMML. & SCHL.) ヒガンフグ〔眞河豚科〕

沼津市桃郷, 1 點〔拾得〕 (14. iv. 1947); 駿河灣, 4 點 (大山蒐集品), 當地方では寧ろ稀である。全長 5 例 159~240 mm。

(85) *Mola lanceolata* (LIENARD) ヤリマンボウ〔鱈車魚〕

伊豆西浦 (イワシ夜網); 成魚若しくは中成魚 2 點 (22. x. 1946—觀察), 稀種。全長約 1 米, 此 2 例の觀察を記るせば、體は長卵形を呈し、背面・背・臀・尾の各鰭は何ずれも濃暗灰色 (黒味勝) で、體側以下淡灰色に銀白色光を有し〔斑點ありしや否やは調査し得ず、已に解體中につき〕、尾鰭が普通マンボウの如く半圓形の横列でよく、黒沼氏日本生物地理學會々報, vol. 10, no. 2, p. 27, fig. 28 (1940 — 大島波浮港沖一稚魚寫眞) の稚魚の槍状突起を取去りしと同一形、即ち中央軟條が短いのが明かに突出している、眼は明かに鰓孔より吻端に近く、頭部の外廓は凸圓形で、吻端がフグ類同様に圓い。夫故私はヤリマンボウの中成魚 (或は成魚) に同定する。因に大山蒐集品中には伊豆七島産の幼魚 1 標品 (體長尾突起を除き 178 mm) が保存され、これによれば體色・斑紋・形態は全く黒沼氏の稚魚に等しいが、尾鰭には中央の突起部 (44 mm の長さ) より上方に 6, 下方に 9 箇の半月形横列を存していること普通マンボウに近い。以

上の點から見て中央突起は成長と共に短くなるものと私は信ずる。

上掲の西浦の2例中の1尾にはナガコバンが附着してゐた。ヤリマンボウは熱帯性で、我國からは伊豆大島〔上掲〕・伊豆七島〔上掲〕及び山口縣萩魚市場（日本海にて採集、中成魚全長凡そ2~3 feet (609.6~914.4 mm)）の外は伊豆西浦の2例及び1947年9月24日千本沖アジ夜網にも成魚が入り、内1尾を測定した例があるのみ。（詳細は「生物」vol. 4, nos. 5-6, pp. 206~208, figs. 1-7 参照）。本種の屬名は岡田要教授の説に賛成し且つ J. R. NORMAN の分類通り *Masturus* を *Mola* のシノニムにする。

(86) *Sebastodes inermis* (CUV. & VALENC.) メバル〔笠子科〕

駿河灣，大1點（暗色型）及び牛臥沖ヒイチ根，小1點（暗色型）(viii. 1934)（大山蒐集品）。

(87) *Setarches fidjiensis* GUENTHER (1878) シロカサゴ〔笠子科〕

Syn. — *Setarches parmatulus* GOODE (1881—off south coast, New England).

Bathysebastes albescens STEIND. & DOEDERL. (1884—off Tokyo).

伊豆戸田，3點 (13. x. 1931)（中澤蒐集品）；駿河灣，大2點（大山蒐集品），戸田の全長72, 170, 200 mm, 本種の學名確定については松原教授 (1943) の研究に負うもので、茲に深謝の意を表する。

(88) *Furcina osimae* JORDAN & STARKS キヌカジカ〔杜父魚科〕

沼津市我入道，中幼及び幼10點（金子榮一採集）(31. v. 1946)，全長42.5~65.5 mm, ID. x; IID. 16~18; A. 13~14. 第1背鰭第3棘が著しく短い爲め、こゝに明かな1缺刻部があるのが特徴。從來の記載に見られないことは、側線孔に1小皮質突起があることで、之は個體により、數多いのと全くないのがある。肛門突起は凸状で短かく、多少3葉に分れている。從來函館と相州三崎とから知られたので、駿河灣は、分布の南限となる。海藻多き岩隙に潜んでいて、活動は速かでない、體色には個體變化があるが之は海藻色によつて異なる。

(89) *Podoltheus sachi* (JORDAN & SNYDER) トクビレ・ワカマツ〔熊谷魚科或はトクビレ科〕

伊豆戸田附近，1♀ ad. (1937)（大山蒐集品），全長273 mm, ID. VIII; IID. 13; A. 15. 此標品の符箋にはコシノトクビレとあつたが、私の調査ではトクビレの雌に相違なく、若し前種であるとすれば IID. 8~9; A. 15 でなくてはならぬ。夫れは兎に角、北海道・東北地方・日本海（新潟・富山等）及び朝鮮東岸から報告あるのみで、青森以南の太平洋沿岸から知られたのは此標品（伊豆戸田）が初めてと思う。

(90) *Pterygotrigla macrorhynchus* KAMOHARA (1936) ハナナガソコホウボウ〔魴鮆科〕

駿河灣，1點（年月不明）（大山蒐集品），全長（吻突起を除き）202, 吻突起29 mm, 熊野灘と土佐沖とから知られるのみで、駿河灣は分布の北限。

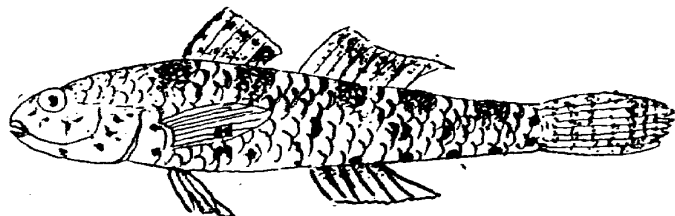
(91) *Peristedion nierstraszi* WEBER ヘリキホウボウ〔黄魴鮆科〕

伊豆戸田，中1點 (i. 1939)（大山蒐集品），全長180± mm 兩背鰭の上縁は共に黒色である。

(92) *Peristedion amiscus* JORDAN & STARKS ヒゲキホウボウ〔黄魴鮆科〕

駿河灣，3點（中澤蒐集品）；伊豆戸田，4點 (i. 1939)（大山蒐集品），駿河灣の例全長88~152 mm

(93) ? *Gobius tessellata* (HERRE) ヒナハゼ〔鯧科〕第5圖



第5圖 ヒナハゼ(?)

沼津市島郷（或は桃郷）川下流，3點 (12. x. 及 1. xi. 1946)，全長21, 25, 28 mm ID. VI; IID. 8; A. 7; 1縦列鱗22箇，何分にも小魚の爲め富山博士を煩わして上記の種に内定はしたが誤りなきを保し難い。目下富山氏が尙ほ研究されつゝあることを報じて置く。

頗る稀魚で私の得たものも島郷川下流の半鹹水（満干の影響著しい部）に於て漁夫が投網にて川蝦を漁獲中のものに混在していたのである。日本では屋久島で採集の外は全く記録のないものらしく、静岡縣是最北分布地となる譯である。其他は沖縄・石垣島（青柳氏）及び比群島から報ぜられる。

(94) *Pterogobius virgo* (TEMM. & SCHL.) ニシキハゼ [鯧科]

志下シラス手繰, 稚魚 14 點 (26. iv. 1946) 全長 64~79 mm 成魚より帶蔷薇色に富み, 縦線も少ない。(幼形及び稚魚に関する詳細は「動維」59 卷 7 號, p. 180, fig.5. 1950 参照)

(95) *Chaenogobius annularis annularis* (GILL) ビリンゴ [鯧科]

牛臥, 中 1 點 (viii. 1938) (大山蒐集品); 島郷川, 成 1 點 (1.xi. 1946) 及同川, 幼 11 點 (21. v. 1947), 全長島郷川の例成 53 mm, 幼 21~37 mm 淡水と半鹹水に産し, 水田にも入る。

(96) *Parachanna turichthys polynemus* (BLEEKER) ヒゲハゼ [鯧科]

静岡縣江尻 (年月失念) [標品は焼失]

▲附記——富山氏 (1936) はヤミハゼ (*Saruga fundicola* JORDAN & SNYDER) をアカハゼ (*Chaeturichthys hexanema* BLEEKER) の異名中に置き ?? を附し, “young with barbels rubbed off?” とせられるが私は蒲原氏 (1936) 同様別種説に傾く, 千本沖手繰網の 1 例全長 65.5 mm ある。稀種に属する。其後富山氏も獨立種なる確報に接した。

(97) *Tridentiger obscurus obscurus* (TEMM. & SCHL.) チチブ [鯧科]

沼津市狩野川, 雄成魚 1 點 (1938) (大山蒐集品), 半鹹水に産するが本篇に加える。

(98) *Echeneis nubifera* TANAKA クモコバン [小判鮫科]

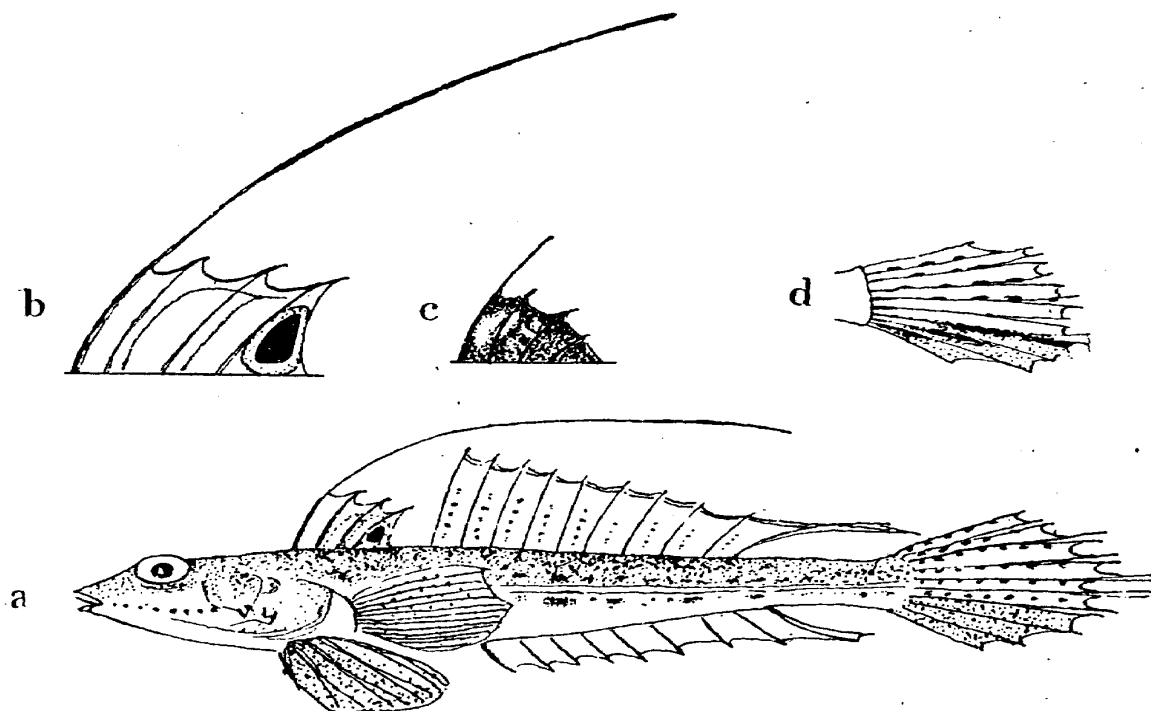
駿河湾, 中 1 點 [年月不明] (大山蒐集品), ID. XVIII. 稀。

(99) *Echeneis remora* LINNAEUS ナガコバン [小判鮫科]

伊豆西浦, 1 點 (22. x. 1946), 全長 250 mm, ID. XVII. ヤリマンバウ [前出] に附着していたもの, 分布は廣い。

(100) *Echeneis brachyptera* LOWE クロコバン [小判鮫科]

駿河湾, 中 1 點 [暗色型] (1931) 及び同小 1 點 [淡色型] (大山蒐集品), ID. は共に XV である。液漬にて暗色型は灰褐色であるが, 淡色型は紫白色で, シロコバンに著しく類似する。



第 6 圖 *Callionymus lunatus* form. *usuiro*
ウスイロヌメリ a. 雄全圖, b. 雄の第 1 背鰭, c. 雌の第 1 背鰭, d. 雌の尾鰭

(101) *Calliurichthys doryssus* JORDAN & FOWLER ヤリヌメリ〔鼠尾科〕

伊豆田方郡井田沖手繰網 80 尋, 幼 2 點 (9. iv. 1946); 駿河灣, 中 1 點 (中澤蒐集品); 同, 幼 1 點 (大山蒐集品) 上記の全長 76.5~140 mm 雄の第 1 背鰭棘は著しく糸状, 頭頂は圓滑である。

(102) *Callionymus lunatus* form. *usuiro*. KURODA ウスイロヌメリ〔鼠尾科〕第 6 圖

志下沖手繰網, 5 點〔内 2 點入手〕(2. iv. 1946); 駿河灣, 6 1 點 (年月不明) (中澤蒐集品)。

記載——尾鰭中部の 2 軟條のみが特に糸状に延長していない。第 1 背鰭第 1 棘が糸状で最長, 而して此第 1 棘は頭長よりも著しく長い。鰓蓋前骨棘上縁には上方に向える 2 小棘と基底に後方に向える 1 棘及び基底外側部にも後方に向える 1 棘とがある。雌雄共第 1 背鰭棘の長短の具合はヌメリゴチ (アイノドクサリ) に等しいが, 雄の第 1 棘の非常に長いこと及び斑紋の相違が著しい。體色はベニテグリとヌメリゴチとの中間色である。別種と見るよりもヌメリゴチの淡色型と考え, 新種として記載する。

・新鮮色其他 (志下の例, 雄)——雄成魚は背面淡灰色の地に淡褐色の小圓點と細線による中小圓斑及び長味の細線斑などにより, 網目状や虫喰状を呈し, 主に前状が多いが, 何づれも不判明に存する。頭上から鰓蓋には濃茶褐色の小點と圓斑とがあるので體背面より著しく濃色となる。側線直下に淡灰黄色の 1 縦帯が不判明に通る。此縦帯の下方に灰色點大小が 1 縦列にある。口角附近から 8 點のコバルト蒼色の擬圓點が鰓蓋前骨棘基部迄の間に 1 縦列をなす〔フォーマリン漬後は殆ど消失〕。體の腹面では腹部は乳白色, 肛門以下の尾部腹面は半透明で淡灰色第 1 背鰭は黄色で, 2 淡蒼色の横帯があり, 後部に 1 大黒斑があり, 此斑の縁は後方を除き美しき帯白蒼色, 第 1 棘は先 $\frac{2}{3}$ は擬黒色で, 甚だしく長き糸状となり, 體後方に達し, 第 2 背鰭基底を超える。然るに第 2~第 3 棘は短く, 殆ど同長で 20 mm 内外あるのみで, 少し膜外に出る。此部は黒い。第 2 背鰭後方軟條は長く, 尾鰭基底を超え, 地色は淡蒼白色で透明膜中にあり, それに上縁近くに黄色の 1 縦帯があり, その下方に黄色の 3 縦列と交互する淡蒼色の 2 縦列の各々點列をなしている。胸鰭は淡色で, 軟條基半に小褐色點がある。腹鰭は淡鈍蒼色で, 内方は幾分淡色 (無斑)。臀鰭は美蒼色で軟條は多少膜外に出る尾鰭中央軟條は稍々長く少し膜外に出で, 上下軟條は短くなり, 下方の 3 軟條及び膜は蒼色他は淡蒼白色の透明膜を有し, それに黄色の 5 斜縦斑帯と中部膜基部とに小コバルト蒼色點少數があり, 中央の 2 軟條は桃色で, 之れに褐色斑點がある。虹彩は上方橄欖色, 下方鮮黄色, 内細輪は黄金色である。

雌成魚 (有卵のもの)——背面は雄と同様で少し淡色, 第 1 背鰭第 1 棘は僅に長く, 少し膜外に出で, 此鰭は約三角形を呈し, 第 2~第 4 棘は何づれも短く, 僅に先端が膜外に出る。此鰭の地色は橄欖黒色で, 第 3 棘迄の膜に擬白色の長形又は擬圓形斑點があるが, 境界は不鮮明である。第 2 背鰭は雄のものと同様であるが, 斑紋は一體に鈍く, 後方軟條は短く, 尾鰭基底に達しない。胸鰭は雄と同様, 腹鰭は蒼灰色で, 基部に小弱斑があり, 臀鰭は雄と異り, 基部暗灰色, 外縁は乳白色で目立つ。尾鰭は雄と大に異り, 膜・軟條共に白く, それに汚褐色斑點があり, 下部の 3 膜に蒼黒色の濃き大長縦帯があり, 最下縁は著しく目立つ乳白色である。

測定—志下 ♂ (type) 200, 全長 200, 體長 146, 第 1 背鰭棘全長 (糸部共) 76 mm, 志下 ♀ 全長 165, 體長 129, 第 1 背鰭棘全長 (糸部共) 18.5 mm, 駿河灣 ♂ 全長 161 mm

分布——駿河灣〔目下の處特産〕

習性——志下では餘り遠からざる沖合の手繰網に入つたもので, そこではアカアマダイ・キアンコウ・ヒラメ・ヤリガレイ (1 點)・メイタガレイ・ムシガレイ・カナガシラ (多數) 等と共に木型 5 點が漁獲された。ヌメリゴチより稍々沖合の深所に棲むので, ヌメリゴチよりは遙かに淡色である。恐らくベニテグリ (尙ほ深所) への移行を示す 1 型かと思う。

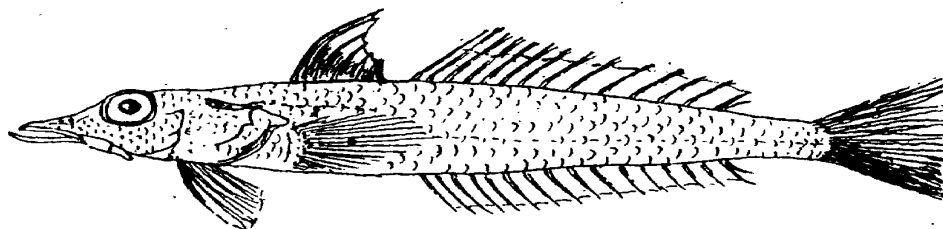
(103) *Callionymus virgis* JORDAN & FOWLER ホロヌメリ〔鼠尾科〕

志下手繰網, 幼と稚魚, 19 點 (19. iii. ~ 2. iv. 1946); 伊豆土肥沖手繰, 100 尋, 少數 (27. iii. 1946), 全長 36.5~90 mm 背鰭棘の長短其他個體變化がある。

(104) *Bembrops caudimacula* STEINDACHNER (1876) アイトラギス〔虎鯧科或は帆掛虎鯧科〕第7圖

伊豆戸田附近, 成 1

點 (1935) (大山蒐集品) 全長 245 mm, 此種は日本と臺灣丈けから知られていたが, GOODE (1880) が記載し, GOODE & BEAN



第7圖 アイトラギス成魚

(1895) が圖説した *Hypsicometes gobioides* と對比して見て其差の少いのに驚いた。即ち主要點は兩者殆ど全部一致し, 唯ID. の第1棘はアイトラギスでは著しく屈曲しているが, *H. gobioides* では普通形であること, 後者では尾鰭の基部上方に1暗點があり, 後縁に暗色線があるが, アイトラギスでは單に尾鰭下縁部に1大黒色線があること, 鰓蓋の棘数が少し異なること及びアイトラギスでは側線鱗51箇であるが, *H. gobioides* では65箇であること等の違いである。若し是丈けの差では兩者は同1種と認め得べく, しいて分つとすれば2亞種とすべきではなからうかと思う。*H. gobioides* の採集地は off St. Vincent, off St. Kitts 及び 19° – 40° N. lat., 70° – 88° W. long. の同〔西印度〕である。印度からも ALCOCK が報告する(詳細は「魚類學雜誌」1卷1號, pp. 57–61, figs. 1–3, 1950 参照)。因にハイゴチ (*Bembradon laevis* (NYSTROEM)) は蒲原教授の説通り, アイトラギスの幼魚なることに疑いない。

(105) *Hoplobrotula armata* (TEMM. & SCHL.). ヨロヒイタチウラ〔鰈魚科〕

伊豆江梨沖, 1點 (29. iii. 1935); 伊豆木負^{ギシヨウ}, 數點 (14. iv. 1945); 土肥沖, 100 尋, 少 (5. xi. 1945); 千本沖, 70–80 尋, 3點 (18. i. 1946); 原町沖, 1點 (19. i. 1946); 伊豆井田沖, 80 尋, 1點 (9. iv. 1946); 駿河灣, 1點 (中澤蒐集品); 同 (大山蒐集品) 普通種。

(106) *Neobythites fasciatus* SMITH & RADCLIFFE シマイタチ〔鰈魚科〕

駿河灣, 2點及び伊豆戸田, 2點 (13. xi. 1931) (共に中澤蒐集品); 伊豆戸田 (大山蒐集品), 全長 143–175 mm

(107) *Tarphops oligolepis* (BLEEKER) アラメガレイ〔鰈科〕

志下, 小曳網〔ガンゾウヒラメと混記す—黒田, 1931〕; 志下, 手繰又は小曳網, 11點 (1. viii. 1943 及 11. i. 1946); 桃郷小曳網, 數點 (16. vi. 1943). 小形種で全長 40–76 mm, D. 64; A. 49; 側線鱗 40–44 箇。全長 75 mm 前後は成魚である。沿岸に普通 (詳細は「動維」vol. 58, no. 11, pp. 213–214, fig. 1 参照)。

(108) *Citharoides macrolepis* (GILCHRIST) コケビラメ・カシベタ〔鰈科〕

伊豆井田沖, 手繰, 80 尋, 成魚 1點 (9. iv. 1946) 稀種。全長 202 mm, 1 縦列鱗 42 箇。

(109) *Arnoglossus tenuis* GUENTER. ナガダルマガレイ〔鰈科〕

清水魚市場, 幼 1點 (viii. 1929) (中澤蒐集品) 稀種。全長 84.5 mm; D. 88; A. 69; 側線鱗 (脱落) 42 ± 箇。

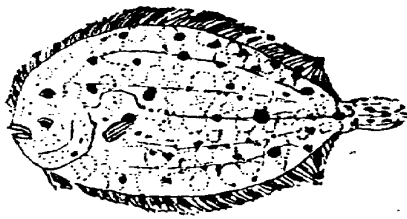
(110) *Engyprosopon valde-rostrata* (ALCOCK) コウベダルマガレイ〔鰈科〕

Scaeops sp., Kuroda, "Amoeba" iii, nos. 1–2, p. 121 (1931–Shige).

志下 (viii. 1919)〔黒田, 1931〕; 伊豆井田沖手繰 80 尋, 中魚 3點 (9. iv. 1946); 清水市場, 中 1點 (viii. 1929) 及び鈴川地曳, 稚魚 1點 (28. x. 1929) (共に中澤蒐集品)。

(111) *Bothus ovalis* (REGAN) マルダルマガレイ〔鰈科〕第8圖

志下, 稚魚 1點 (17. x. 1945) (山内豊秋氏採集), 稀種。全長 40, 體長 34, 頭 7.5 體高腹鰭部 17.5, 眼徑 2, 兩眼間隔 2.3, 上顎主骨長 2 mm, 體長は體高の 1.94 倍, 頭長の 4.53 倍, 頭長は上顎長の 3.75 倍 D. 89; A. 66; 縦列鱗 94 箇稚魚につき同定に誤なきや保し難い。〔挿繪参照〕



第8圖 マルダルマガレイ

伊豆戸田, 幼 1 點 (1939) (大山蒐集品) 129 mm 稀。

(115) *Zebrias japonicus* (BLEEKER) セトウシノシタ (笹牛之舌科)

伊豆井田沖, 80 尋 手繰 1 點 (9. iv. 1946), 142 mm 稀。

(116) *Areliscus interruptus* (GUENTHER) ゲンチョ (牛之舌科)

鈴川地曳, 幼 1 點 (28. x. 1929) (中澤蒐集品); 土肥沖手繰, 100 尋, 1 點 (27. iii. 1946); 井田沖手繰 80 尋, 1 點 (9. iv. 1946). 全長 97~195 mm. 稀種。

(117) *Lotella maximowiczi* HERZENSTEIN エゾイソアイナメ (鰯科)

普通で志下, 千本沖, 原町沖, 江梨沖, 大瀬沖, 井田沖にて漁獲, 駿河灣, 稚魚 1 點 (中澤蒐集品), 從來イソアヒナメと誤報のもの。全長 68.5~173 mm。

(118) *Lotella phycis* (TEMM. & SCHL.) イソアイナメ・ヒゲダラ (鰯科)

伊豆戸田, 1 點 (1939) (大山蒐集品), 全長 204 mm, 稀。

(119) *Coryphaenoides allipinnis* GUENTHER ホカケダラ (鰯科)

駿河灣, 成魚 1 點 (中澤蒐集品), 全長 386 mm 稀種。

(120) *Coryphaenoides awae* JORDAN & GILBERT ボウシュウソコダラ (鰯科)

駿河灣, 成 1 點 (1931) (大山蒐集品), 全長 452+ x mm 側線上方に 7 縦列鱗がある。稀。

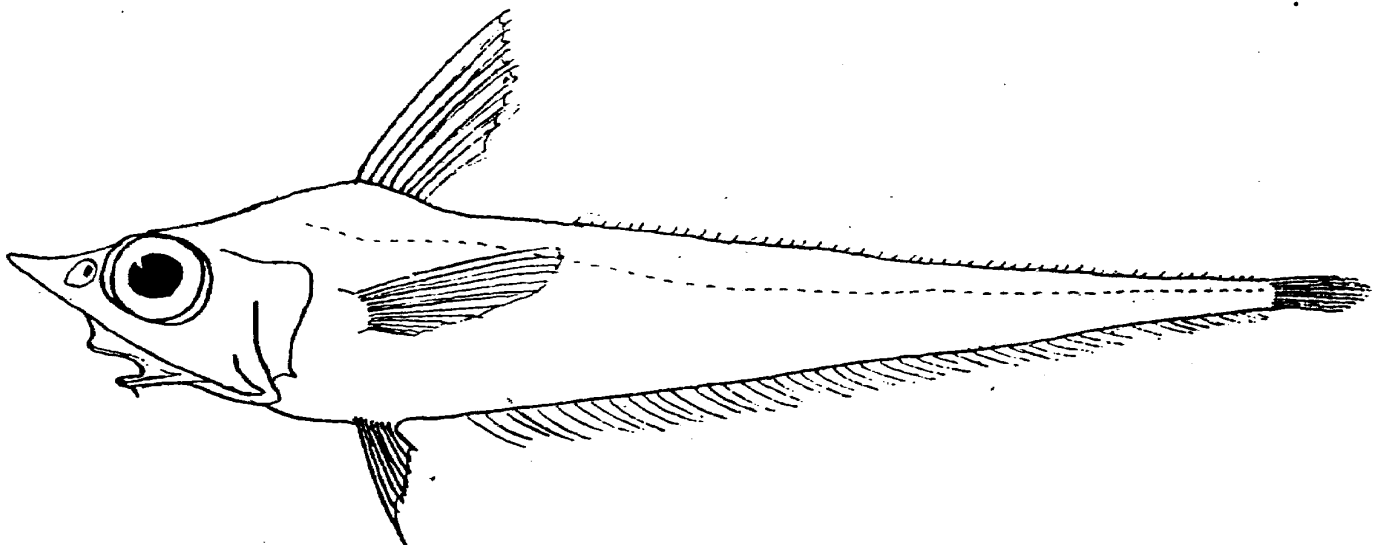
(121) *Coryphaenoides marginatus* STEIND. & DOEDERL ヘリダラ (鰯科) 時にヘソダラと誤記される。

駿河灣成 1 點 (中澤蒐集品); 同 1 點 (大山蒐集品), 全長 417, 366 mm, 稀。

(122) *Coryphaenoides* [or *Ventrifossa misakius* JORD. & GILBERT. ミサキソコダラ (鰯科)

伊豆戸田, 1 點 (13. x. 1931) (中澤蒐集品), 全長 220 mm. サガミソコダラに比し體鱗が細かく, 鱗は附着性に富む。稀種。

(123) *Coelorhynchus kishinouyei* JORDAN & SNYDER ムグラヒゲ (鰯科) (第9圖畸形)



第9圖 ムクヒゲ畸形

昭和 27 年 (1952) 6 月

駿河湾魚類追加

177

伊豆戸田 7 點 (13. x. 1931) (中澤蒐集品); 同 1 點 (i. 1940) (大山蒐集品); 沼津市獅子濱〔陸揚〕2 點 (3. i. 1947), 稍普通。中澤蒐集品中に 1 畸形があり, 尾部が頗る短く, 尾鰭は明瞭に分離し存在する。此説明については蒲原教授, 「動雑」, vol. 47, p. 679, 1935 参照。當灣産全長 216~312 mm, 畸形全長 172, 吻より肛門迄 65.5, 尾部 106.5 mm。

(124) *Coelorhynchus anatirostris* JORDAN & GILBERT ネズミヒゲ〔鬚科〕

伊豆戸田, 2 點 (13. x. 1931) (中澤蒐集品), 全長 197, 245 mm, 頗る稀。

(125) *Abyssicola macrochir* (GUENTHER) テナガダラ〔鬚科〕

伊豆戸田, 幼 2 點 (13. x. 1931) (中澤蒐集品); 志下, 成魚 1 點〔拾得〕(20. vii. 1947), 全長幼 101, 106+x mm; 成 600+x mm 稀種に屬す。ヒゲ屬より頭の隆起線弱く, 吻短く尖り, 上縁著しく龍骨狀突起をする胸鰭が長く, 吻を除いた頭長と同長である。

(126) *Malacocephalus laevis* (LOWE) マンヂユウダラ〔鬚科〕

駿河湾, 成 1 點 (i. 1931) (大山蒐集品), 全長 522 mm 稀種。符箋にはニホンマンヂユウダラ (*M. nipponensis* GILBERT & HUBBS) とあるが, 精査の結果は *M. laevis* に當る。蒲原教授 (1938) も此兩種は今後の調査の進むにつれては同 1 種とすべきかもしれぬと暗示されたが, 終に日本産は後種丈けとされている (蒲原, 土佐・紀州魚, p. 279)。

Résumé

Additions to the Fishes of Suruga Bay (X), with Corrections

NAGAMICHI KURODA.

Among these additions, the following form is described as new:

Callionymus lunatus form. *usuïro*, form. nov.

Characters.—Resembles *C. lunatus*, but distinguishable from it in having the first dorsal spine with a very long filament, reaching almost to the caudal peduncle and a distinct black eye-like spot at the posterior part of the first dorsal fin which is yellow in life. In the female specimen the first dorsal is olivaceous black with oblong or roundish white spots on the membranes from the first to the third. General colour of the back of the both sexes are much paler, pale greyish, with small spots or lines of pale brown. 5 specimens examined.

Measurements.—♂ ad. (type) total length 200 mm, body length 146, length of first dorsal filament 76. ♀ ad. total length 165, body length 129, length of first dorsal filament 18.5 mm.

Type.—An adult male (N.Kuroda coll.), off Shige, Numazu, Shizuoka Prefecture, Hondo, Japan; collected April 2, 1946, by the author.

Habitat.—At present, it is only known from the Suruga Bay.

Remarks.—They were obtained from bottoms not so far from the shores, but apparently they are found deeper bottoms than in the ordinary species, *C. lunatus*.